

連合岩手宮古・東北地協 第7回青年委員会合同学習会

6月8日(土)～9日(日)に八幡平市を会場として第7回合同学習会を開催しました。

今学習会は7名の女性参加もあり、総勢25名が集いました。

13時半から八幡平地熱プロジェクト「ジオファーム八幡平(いわて)」さんにお邪魔して、船橋友紀恵さんから説明をいただきながら、引退後の競走馬の活躍の場と地熱を活用したマッシュルーム栽培を視察しました。

馬ふんと地熱を活用して地域活性化を目指し、持続可能な社会の構築とともに、この地域に馬がいる里山の景観を維持していくことを目標としています。

地域活性と雇用の創出として、1・地熱を活かしたハウス栽培作物
2・地熱活用型堆肥舎での高品質・馬ふん堆肥の開発と通年安定生産
3・地熱資源の有効性を地域に醸成することに向けて取り組んでいます。

マッシュルームを収穫後の馬ふんは時間をかけて、畑で活用できるように処理をして無駄のない有効活用をしています。

下部写真(左)は馬ふんについての説明、(右)はハウス内のマッシュルーム。

大阪と神奈川出身のご夫妻が八幡平で地域資源を活用した取り組みへの経緯について説明を受けました。



最後に全員がマッシュルームをいただき、馬と船橋さんと参加者で集合写真を撮りました。今現在約20頭の馬が飼われているそうです。

人に慣れていないので、触れたりニンジンあげることも出来ます。



八幡平温泉郷の宿泊先に移動し、青年委員会の県北地協の向井委員長と宮古地協の滝上委員長、企画まで取り組んでいただいた県北地協の佐々木前委員長から一言ずつ挨拶をしていただきました。その後は、男性陣はチェーンソーと斧を使用し薪割りを体験し、女性陣はバーベキューの準備を行いました。地域と職種が異なり、初対面も多い中でメンバーが一体となり、楽しく盛り上がるバーベキューになりました。学習会なので準備から翌朝の片付けまで全員が協力しました。

県北地協青年委員長
向井元信さん
東北電労二戸支部

宮古地協青年委員長
滝上貴弘さん
JP労組宮古支部

県北地協前青年委員長
佐々木倭さん
東北電労釜石支部

県北地協青年委員会川崎事務局長より
今後の説明と各委員長からの挨拶を受け、いよいよ薪割り体験！！



初めてのチェーンソー体験！

川崎事務局長が薪を割った瞬間

こちらも初めての鮎のくし刺しを勉強中！



女性陣はバーベキューの食材準備です。



地域・職種・性別に関係なく皆で盛り上がり、知り合いが増えて良かったの声がありました。

僕たちは鮎を焼きながら一杯！



全員が引いたカードの内容を含め、悩みながら自己紹介を行い、皆のリアクションが良かったです！(^^)！

ジオファームのマッシュルームも美味しいです。



一番嫌な物を引いちゃった

目隠し

自分の××が好き♡



二日目はイーハトーヴォ安比高原自然学校による「そば打ち体験」を細野地区活性化センターで行いました。1チーム5人で4チームに分かれて、地元の先生の指導のもと全員が全ての作業をこなし、手打ちそばを完成しました。

安比地域でのそば文化の発祥や県内外の地域からの受講生と地域ごとの情報交換が出来るメリットなどを自然学校副校長の佐々木隆男さんから伺いました。



自分たちの作ったそばの味は格別だ！



太さがいろいろで食感が楽しめる？



自分たちが作った手打ちそばと先生方に作っていただいた「おにぎりと煮しめ」を食べて、最後にはチームごとに先生を囲んで記念写真を撮影しました。



全体のアンケートでは、他地域の別職種の組合員と知り合いになり、色んな話を聞くことができて良かった。初めての体験が楽しかった。地域の環境や地域資源の活用による取り組み、地域文化を知ることができて勉強になったなど好評でした。次世代を担う各地域・多業種の仲間の連携が深まっていくことを目指し、合同学習会を継続していきます。

参加組合

- 1・岩教組県北支部 2・宮古市職労 3・JP労組宮古支部 4・JP労組県北支部 5・東北電労釜石支部 6・東北電労宮古支部 7・東北電労二戸支部 7・ユアテックユニオン宮古分会 8・東京銀座ファッションユニオン